

■ 福原 紀彦

中央大学学長。1954年滋賀県生まれ、1977年中央大学法学部卒業後、同大学院博士後期課程、杏林大学助教授・中央大学助教授を経て、1995年中央大学法学部教授、2004年法務研究科（法科大学院）教授、2007年法務研究科長、2011年学長（2014年まで）、2011年学校法人中央大学総長（2013年まで）、2018年より再度現職。放送大学客員教授、公認会計士試験委員、防衛省防衛施設中央審議会会長、文部科学省大学設置・学校法人審議会委員、日本私立大学連盟常務理事、大学基準協会理事等を歴任。専攻は、民法（商法・IT法）。

■ 高倉 弘喜

国立情報学研究所教授。平成2年九州大学工学部卒業、平成4年九州大学大学院工学研究科修士課程修了、平成7年京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了。専攻はサイバーセキュリティ。京都大学研究員、イリノイ州立大学客員研究員、奈良先端科学技術大学院大学助手、京都大学講師、助教授、名古屋大学教授を経て、平成27年国立情報学研究所教授。平成28年同所サイバーセキュリティ研究開発センター長。主著として、Daichi Hasumi, Shigeyoshi Shima, Hiroki Takakura, Speculating Incident Zone System on Local Area Networks, Proc. of the 2018 Workshop on Traffic Measurements for Cybersecurity (WTMC '18), pp.40-45, ISBN: 978-1-4503-5910-8, August 20, 2018.。長谷川皓一、山口由紀子、嶋田創、高倉弘喜、『標的型攻撃に対するインシデント対応支援システム』、情報処理学会論文誌、Vol.57, No.3, pp.836-848, 2016年3月。

■ 洞田 慎一

一般社団法人JPCERTコーディネーションセンター早期警戒グループマネージャ。1998年3月東海大学理学部物理学科卒業。2003年3月総合研究大学院大学数物科学研究科素粒子原子核専攻博士課程後期課程修了。2006年6月総合研究大学院大学葉山情報基盤センター助教、2013年総合研究大学院大学葉山情報基盤センター講師。2015年4月より、JPCERTコーディネーションセンターに勤務。2016年4月から現職。主著として(1)洞田慎一，“新聞・通信社に対する高度サイバー攻撃と必要な備えとは(特集 ネットワークセキュリティ対策)”，新聞技術 60(1), 7-10, 2016, 日本新聞協会。(2)Shinigo Abe, Yohei Tanaka, Yukako Uchida, Shinichi Horata, “Developing Deception Network System with Traceback Honeytrap in ICS Network”, SICE Journal of Control, Measurement, and System Integration.

■ 沼 将博

立命館大学情報システム部情報基盤課課長補佐。2006年立命館大学理工学研究科情報システム学専攻博士課程前期課程修了。2011年11月学校法人立命館に入職。2017年4月より公共社団法人私立大学情報教育協会情報セキュリティ研究講習会運営委員就任。学内のネットワークシステム、情報セキュリティに関する企画、導入、運用などを担当。

■ 浜 正樹

文京学院大学外国語学部教授。1993年慶應義塾大学大学理工学部卒業。2009年金沢大学大学院自然科学研究科後期博士課程電子情報科学専攻修了(理学博士)。専攻は数理学・電子情報科学。2015年文京学院大学外国語学部教授、2013年公益社団法人私立大学情報教育協会情報セキュリティ研究講習会運営委員会委員長就任。主著として(1)Invariant Measures For Subshifts Arising From Substitutions of Some Primitive Components (共著)。(2)クラウドコンピューティングによる教育支援システムの運用と課題。

* 本欄はお書きいただいた資料からできるだけ統一し、掲載しました。